

ユナイテッド・マルチ・マネージャー・ファンド 1

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

愛称

フルーツ王国

■当ファンドは、実質的に国内外の株式および債券ならびに派生商品等を投資対象としますので、基準価額は、組入れた株式および債券等の値動き（外貨建資産は為替相場の変動）などの影響を受け、下落することがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■取得のお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡します。必ず内容をご確認の上、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面などの内容もご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

設定・運用は

ユナイテッド投信投資顧問

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第414号
（社）投資信託協会会員
（社）日本証券投資顧問業協会会員



ファンドの特徴

- 様々な絶対収益追求型ファンドを中心に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。
- ユナイテッド投信投資顧問が、優れていると判断した投資信託証券(ファンド)に分散投資を行うことを基本とします。
- あらゆる投資環境に対応するため、投資を行うファンドを適宜見直します。
- 年2回、3月25日および9月25日の決算時(当該日が休業日の場合は翌営業日)に収益の分配を行います。ただし、分配を行わない場合もあります。

(注) 市場動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。



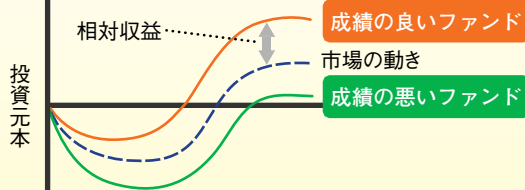
絶対収益追求型ファンド

絶対収益型運用とは、「必ず収益を得る運用」という意味ではありません。この運用は、市場の動きを上回ることが目的ではなく、投資元本に対する収益を追求することを目的としています。

■ 相対収益型運用

今までの投資信託の運用手法は、市場平均などを上回ることを目指した相対収益型運用が主流でした。

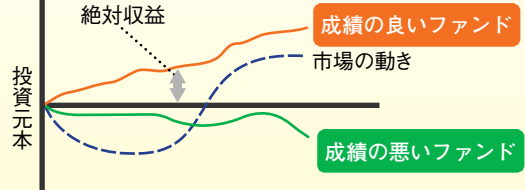
(概念図)



■ 絶対収益型運用

絶対収益型運用とは、市場動向に左右されにくく、投資元本に対する収益を目指す運用のことを言います。

(概念図)

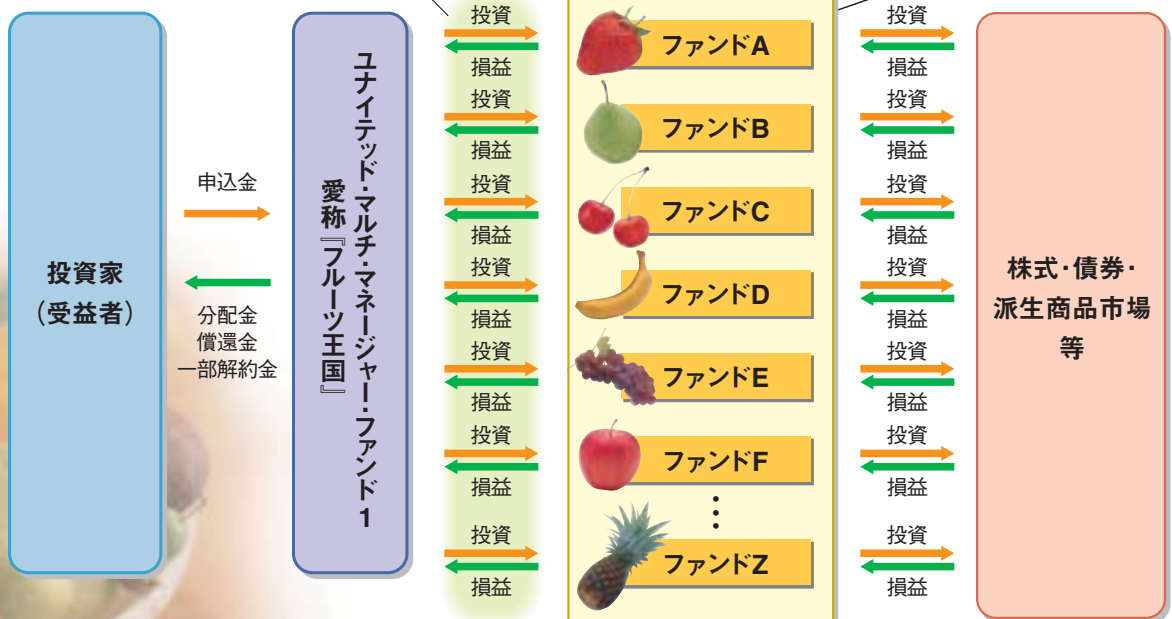


※上図は、あくまで例示をもって理解を深めるためのイメージです。



ファンドの仕組み(ファンド・オブ・ファンズ方式)

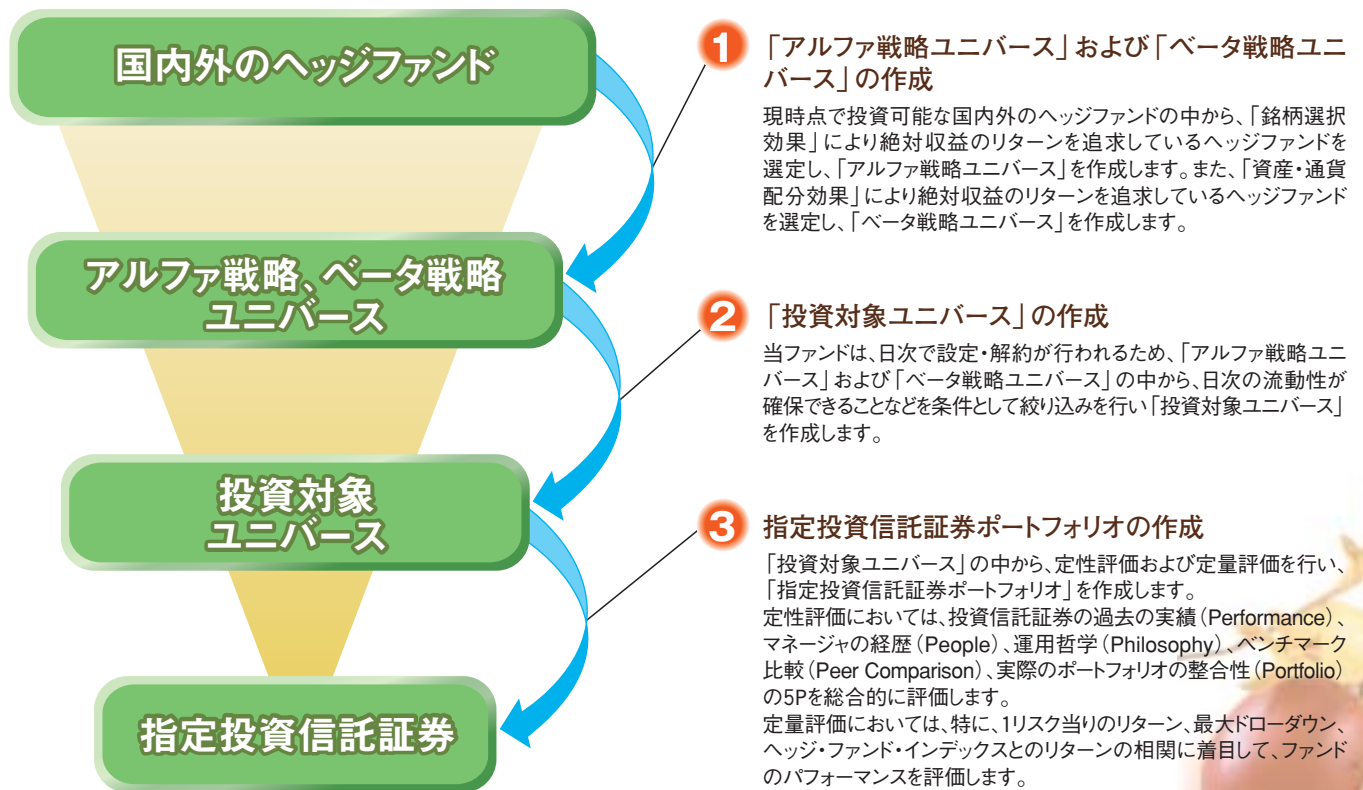
指定投資信託証券の中から、投資するファンドを決定します。



※上図は、あくまで例示をもって理解を深めるためのイメージです。

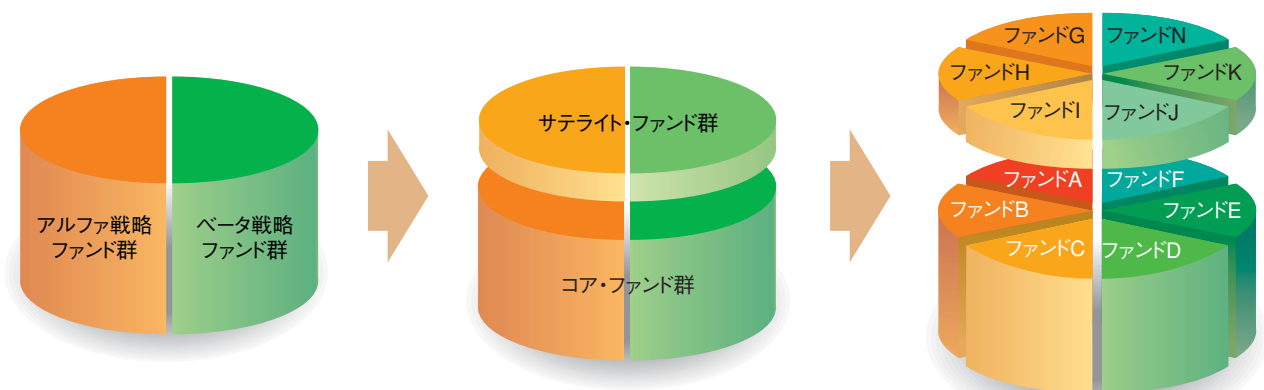
指定投資信託証券の選定方法

指定投資信託証券の選定は、①アルファ戦略、ベータ戦略ユニバースの作成、②投資対象ユニバースの作成、③指定投資信託証券ポートフォリオの作成といった、3段階のプロセスを経て行われます。



※上図は、あくまで例示をもって理解を深めるためのイメージです。

フルーツ王国のポートフォリオ (イメージ)



(上記はイメージ図であり、実際のファンドの投資比率等とは異なります。)

- アルファ戦略**：市場の上げ下げに関わらず、個別銘柄の買いと売りを組み合わせるなど、銘柄選択の精度で収益獲得を目指す戦略
- ベータ戦略**：市場の上昇や下落などの方向性を利用して収益獲得を目指す戦略
- コア・ファンド**：優れた運用実績があり、今後も安定的なパフォーマンスを実現することが期待できる運用手法を持ち、当ファンドの運用のコア (中核) となるファンド
- サテライト・ファンド**：「コア・ファンド」の運用パフォーマンスを補完することが期待できる運用手法を持ち、当ファンドの運用のバランスを整える目的で組入れられるファンド



<収益の源泉 その1>「銘柄選択効果」

「銘柄選択効果」によるリターンとは、魅力度の高い銘柄で構成される買いポートフォリオと、魅力度の低い銘柄で構成される売りポートフォリオ（先物の売建ての場合もあります。）のリターンの差から得られる収益のことです。

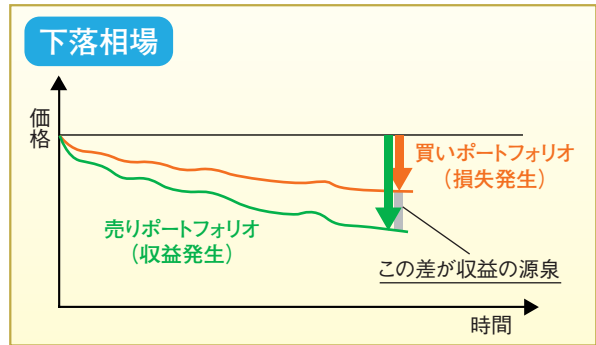
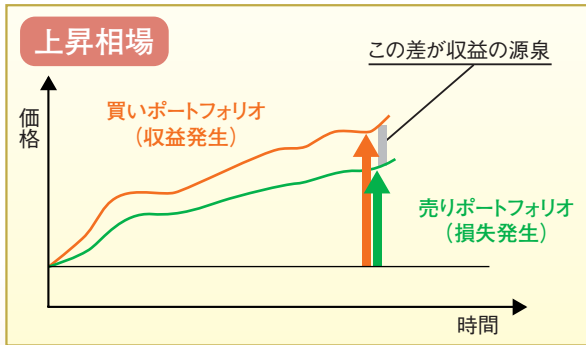
当ファンドが投資する指定投資信託証券の中には、「銘柄選択効果」を獲得して、絶対収益のリターンを追求しているファンド群があります。「銘柄選択効果」を達成するための運用戦略を当ファンドでは「アルファ戦略」と呼びます。

■「銘柄選択効果」の収益獲得イメージ

買いポートフォリオ：上昇時に大きな上昇幅（魅力度の高い銘柄）
下落時に小さな下落幅

売りポートフォリオ：上昇時に小さな上昇幅（魅力度の低い銘柄または先物等）
下落時に大きな下落幅

買いポートフォリオと売りポートフォリオのリターンの差が、収益の源泉となります。



※上図は、あくまで例示をもって理解を深めるためのイメージです。



<収益の源泉 その2>「資産・通貨配分効果」

「資産・通貨配分効果」によるリターンとは、株式または債券などの有価証券もしくは為替または商品（原油・金属・農産物等）など、様々な投資対象の将来の動きを予測し、適切なポジションを取ることによって得られる収益のことです。

当ファンドが投資する指定投資信託証券の中には、「資産・通貨配分効果」を獲得して、絶対収益のリターンを追求しているファンド群があります。「資産・通貨配分効果」を達成するための運用戦略を当ファンドでは「ベータ戦略」と呼びます。

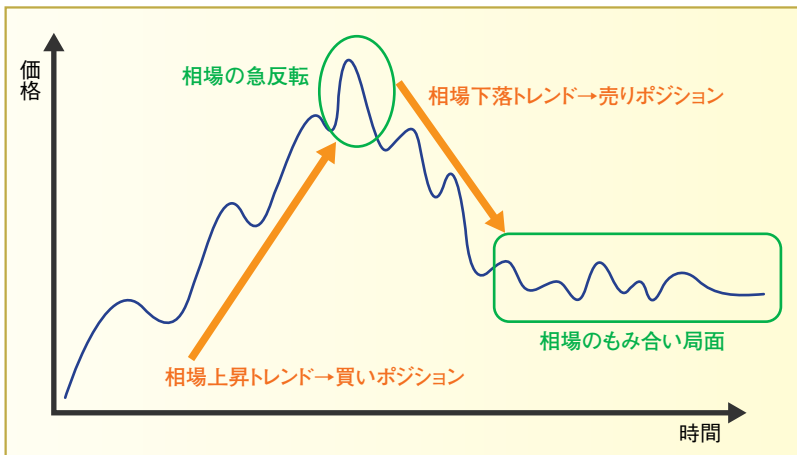
■「資産・通貨配分効果」の収益獲得イメージ

強み：相場の上昇・下落の両トレンド局面において収益の追求が可能です。

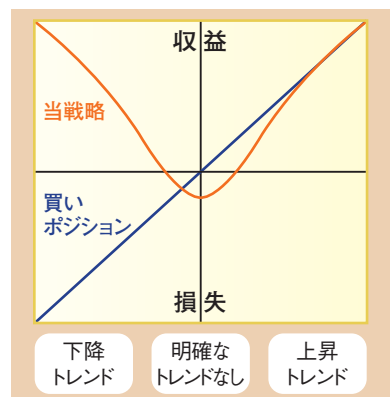
多種類の先物に投資することで、投資機会が拡がります。

弱み：相場の急反転時に損失を被る可能性があります。相場のもみ合い局面では、収益を獲得し難い傾向があります。

多種類の先物に投資することで、リスクが分散されます。



■ 損益特性イメージ (当戦略vs 買いポジションのみ)



※上図は、あくまで例示をもって理解を深めるためのイメージです。



ファンドのリスクについて

- ・投資家の皆様におかれましては、投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、当ファンドのリスクを十分ご理解のうえお申込みいただきますようお願い申し上げます。
- ・当ファンドは、指定投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式、債券および為替取引等ならびにこれらに関連する派生商品（先物取引およびオプション取引等）などの値動きのある金融商品に投資しておりますので、当ファンドの基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ・当ファンドおよび当ファンドが投資する指定投資信託証券の基準価額の変動要因の主なものは以下の通りです。

●有価証券等の価格変動リスク

当ファンドは、指定投資信託証券を通じて株式や債券など値動きのある有価証券を組入れており、指定投資信託証券は、組入れた株式や債券の価格変動の影響を受けます。株式や債券等の価格は、国内外の政治、経済、社会情勢、株式や債券等の発行企業の経営状況等により変化します。その結果、ファンドの基準価額が値下がりすることがあります。

●金利変動リスク

当ファンドは、指定投資信託証券を通じて債券を組入れておりますので、金利変動の影響を受けます。一般に金利が上昇した場合には、既に発行されて流通している債券の価格は下落します。また、残存期間の長い債券の方が短い債券より金利の変化率が高い傾向にあります。金利上昇は、当ファンドまたは指定投資信託証券が投資する債券の価格に影響を及ぼし、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

●為替変動リスク

当ファンドは、投資信託証券を通じて外貨建資産に投資しておりますので、為替相場の変動の影響を受けます。為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

●デリバティブ取引等のリスク

当ファンドの指定投資信託証券の中には、デリバティブ取引等を利用しているものもあります。当該デリバティブ取引等の価格は、対象指数や対象資産等の市況、先物等の市場の需給等を反映して変動しますので、間接的に当ファンドの基準価額が変動する要因となります。デリバティブ取引等の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、当ファンドの基準価額が値下がりすることがあります。

●流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない等流動性の影響を受けます。一般に、流動性の低い有価証券は、より高い有価証券に比べ価格変動率が高くなる傾向があります。

当ファンドおよび指定投資信託証券が保有する有価証券等において流動性が損なわれた場合、当ファンドの基準価額はその影響を受け、値下がりする要因となる可能性があります。

●信用リスク

有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

●カントリーリスク

当ファンドは、指定投資信託証券を通じて外貨建資産に一部投資しておりますので、その国の政治、経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの基準価額が変動する可能性があります。その結果、基準価額が値下がりすることがあります。

●解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資している指定投資信託証券が組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できないことがあり、指定投資信託証券および当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

また、ファンド・オブ・ファンズ方式は、運用の効率化に資するものですが、一方で、主要投資対象とする指定投資信託証券の資金動向により、当ファンドの基準価額や運用が影響を受ける場合があります。

(ご注意) 以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

お申込みメモ

取得のお申込み：原則として、毎営業日取得のお申込みができます。ただし、ニューヨーク証券取引所もしくはロンドン証券取引所の各取引所の休業日またはニューヨークもしくはロンドンの銀行休業日ならびに欧州自動即時グロス決済システム (TARGET) の休業日においては、お申込の受付は行いません。

お申込み単位：	一般コース	最低単位を1口または1円として販売会社が定める単位。詳しくは販売会社または委託会社にお問合せください。
	分配金再投資コース	最低単位を1円として販売会社が定める単位。ただし、再投資される分配金については、1口単位。詳しくは販売会社または委託会社にお問合せください。
	分配金再投資コース (確定拠出年金制度)	1円以上1円単位。ただし、再投資される分配金については、1口単位。

お申込み価額：お申込み受付日の翌営業日の基準価額

信託期間：平成13年3月12日より無期限。ただし、受益者のため有利であると認めるとき、その他の理由により信託を終了させることがあります。

決算日：年2回 (3月25日および9月25日) (休業日の場合は翌営業日)

収益分配：毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。

ご解約のお申込み：原則として、毎営業日解約のお申込みができます。ただし、ニューヨーク証券取引所もしくはロンドン証券取引所の各取引所の休業日またはニューヨークもしくはロンドンの銀行休業日ならびに欧州自動即時グロス決済システム (TARGET) の休業日においては、ご解約の受付は行いません。

解約価額：ご解約お申込み日の翌営業日の基準価額とします。代金は原則としてご解約お申込み日から起算して6営業日目からお支払いいたします。

課税関係：原則として、収益分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

クーリングオフ：当ファンドのお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

ファンドにかかる費用等 (お客様には以下の費用をご負担いただきます。)

■お申込み時に直接ご負担いただく費用

お申込み手数料：お申込み価額に対して上限1.575% (税込)。販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問合せください。

■ご解約時に直接ご負担いただく費用

解約手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

実質的な信託報酬：信託財産の純資産総額に対して年1.785% (税込) ±0.2% (概算)

その他の費用：証券取引に伴う手数料 (売買委託手数料、保管手数料等)、監査報酬、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、資金借入時の支払利息、受託者の立替えた立替金の利息、受益権の管理事務に関連する費用等 (いずれも消費税等の各種税金が賦課される場合はそれを含む)。その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社：ユナイテッド投信投資顧問株式会社
信託財産の運用指図等を行います。

受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行)
信託財産の管理業務等を行います。

販売会社：販売会社につきましては、下記の照会先までお問合せください。
受益権の募集の取扱い・販売を行い、投資信託説明書 (交付目論見書)・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務・収益分配金の支払い・収益分配金の再投資および償還金の支払いに関する事務等を行います。

委託会社の電話番号 03-5542-7150 (受付時間 午前9時～午後5時、半休日は正午まで)

委託会社のインターネット・ホームページ <http://www.unitedinv.co.jp/>

■本資料は、ユナイテッド投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料です。■本資料は、平成21年2月2日現在の内容を記載しております。
■本資料に記載している各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。■当ファンドは預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。■有価証券関連業を行う第一種金融商品取引業者以外の金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。